

# 平成29年3月期 決算説明会

平成29年5月17日

株式会社 藤商事



東証JASDAQ上場

証券コード 6257

1. 平成29年3月期 決算概要	P.2
2. 当社の取り組みと今後の課題	P.9
3. パチンコ・パチスロ市場の見通し	P.14
4. 平成30年3月期 通期業績計画	P.17
参考資料	P.24

# 1. 平成29年3月期 決算概要

# 決算ハイライト① 平成29年3月期 発売機種 (新規タイトル)



## パチンコ遊技機



©東映  
**CR遠山の金さん  
二人の遠山桜**  
(平成28年6月発売)



©2002「仄暗い水の底から」製作委員会  
**CR仄暗い水の底から**  
(平成28年7月発売)



©藤商事  
**CRピカレ!  
まるまるアイランド**  
(平成28年8月発売)



©GEMSTONE  
**CR戦国×恋姫**  
(平成28年9月発売)



©2008-2012 赤松中学 ©2011 赤松中学・株式会社 KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武蔵高校

**CR緋弾のアリアII**  
(平成29年1月発売)



©2012 緑江行人・角川書店 /「Another」製作委員会

**CR Another アナザー**  
(平成29年2月発売)



© Happy Elements K.K All Rights Reserved.

**CRマジョカ×マジョルナ**  
(平成29年2月発売)



©ESE / 世界でいちばん強くなりたい!製作委員会

**CR世界でいちばん  
強くなりたい!**  
(平成29年3月発売)

## パチスロ遊技機



©KADOKAWA GAMES / GRASSHOPPER MANUFACTURE.  
Official Licensed Product of WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC.(s16)

**パチスロ ロリポップチェーンソー**  
(平成28年11月発売)

# 決算ハイライト② 販売台数



(販売台数は百台未満切捨て)

販売台数	平成28年3月期		平成29年3月期		対前年同期比
		構成比		構成比	
パチンコ遊技機	92,400台	83.3%	96,600台	98.8%	+4,200台
パチスロ遊技機	18,400台	16.7%	1,200台	1.2%	△17,200台
計	110,800台	100.0%	97,800台	100.0%	△13,000台

平成29年3月期 パチンコ販売台数			
CR遠山の金さん 二人の遠山桜	24,500台	CRマジョカ+マジョルナ	2,200台
CR仄暗い水の底から	20,000台	CR世界でいちばん強くなりたい!	3,700台
CRピカレ!まるまるアイランド	2,800台	その他	20,800台
CR戦国+恋姫	6,800台	-	-
CR緋弾のARIA II	10,000台	-	-
CR Another アナザー	5,400台	-	-

平成29年3月期 パチスロ販売台数			
パチスロ ロリポップチェーンソー	1,100台	その他	0台

# 決算ハイライト③ 損益計算書



(単位:百万円)

	平成28年3月期		平成29年3月期		構成比増減	備考
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>売上高</b>	<b>38,166</b>	<b>100.0%</b>	<b>32,953</b>	<b>100.0%</b>	—	<b>■売上高・各利益の減少</b> パチスロ販売台数の減少 前期 18,400台 当期 1,200台 △17,200台
売上原価	19,622	51.4%	17,370	52.7%	+1.3pt	
売上総利益	18,543	48.6%	15,583	47.3%	△1.3pt	
販管費	16,508	43.3%	17,855	54.2%	+10.9pt	
<b>営業利益</b>	<b>2,035</b>	<b>5.3%</b>	<b>△2,271</b>	<b>-6.9%</b>	<b>△12.2pt</b>	
営業外収益	152	0.4%	130	0.4%	△0.0pt	
営業外費用	134	0.4%	139	0.4%	+0.1pt	
<b>経常利益</b>	<b>2,052</b>	<b>5.4%</b>	<b>△2,280</b>	<b>-6.9%</b>	<b>△12.3pt</b>	
特別利益	8	0.0%	4	0.0%	△0.0pt	
特別損失	8	0.0%	231	0.7%	+0.7pt	
<b>税引前当期純利益</b>	<b>2,052</b>	<b>5.4%</b>	<b>△2,507</b>	<b>-7.6%</b>	<b>△13.0pt</b>	<b>■ROE</b> 前期末 2.4% 当期末 △4.0%
法人税等	815	2.1%	△562	-1.7%	△3.8pt	
<b>当期純利益</b>	<b>1,237</b>	<b>3.2%</b>	<b>△1,944</b>	<b>-5.9%</b>	<b>△9.1pt</b>	

# 決算ハイライト④ 貸借対照表



(単位:百万円)

	平成28年3月期末		平成29年3月期末		金額増減	備考												
	金額	構成比	金額	構成比														
<b>流動資産</b>	42,635	71.3%	38,545	67.2%	△4,090	<b>■流動資産</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>前期末</td> <td>当期末</td> </tr> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>26,189</td> <td>21,195</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td>600</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26,789</td> <td>22,397</td> </tr> </table>		前期末	当期末	現金及び預金	26,189	21,195	有価証券	600	1,202	計	26,789	22,397
	前期末	当期末																
現金及び預金	26,189	21,195																
有価証券	600	1,202																
計	26,789	22,397																
現金及び預金・有価証券	26,789	44.8%	22,397	39.0%	△4,392													
商品及び製品	459	0.8%	436	0.8%	△23													
売上債権	4,842	8.1%	5,501	9.6%	+658													
その他	10,543	17.6%	10,210	17.8%	△333													
<b>固定資産</b>	17,145	28.7%	18,824	32.8%	+1,679	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>前期末</td> <td>当期末</td> </tr> <tr> <td>流動比率</td> <td>550%</td> <td>451%</td> </tr> <tr> <td>当座比率</td> <td>408%</td> <td>327%</td> </tr> </table>		前期末	当期末	流動比率	550%	451%	当座比率	408%	327%			
	前期末	当期末																
流動比率	550%	451%																
当座比率	408%	327%																
有形固定資産	6,973	11.7%	10,078	17.6%	+3,105													
その他	10,172	17.0%	8,746	15.2%	△1,426													
<b>資産合計</b>	59,781	100.0%	57,370	100.0%	△2,411													
<b>流動負債</b>	7,752	13.0%	8,538	14.9%	+786	<b>■流動負債</b> <b>■固定負債</b> 買掛金・未払金等の増加 退職給付引当金の増加												
仕入債務	5,417	9.1%	5,811	10.1%	+394													
その他	2,334	3.9%	2,727	4.8%	+392													
<b>固定負債</b>	1,335	2.2%	1,620	2.8%	+285													
<b>負債合計</b>	9,087	15.2%	10,159	17.7%	+1,072													
<b>純資産合計</b>	50,693	84.8%	47,210	82.3%	△3,483													

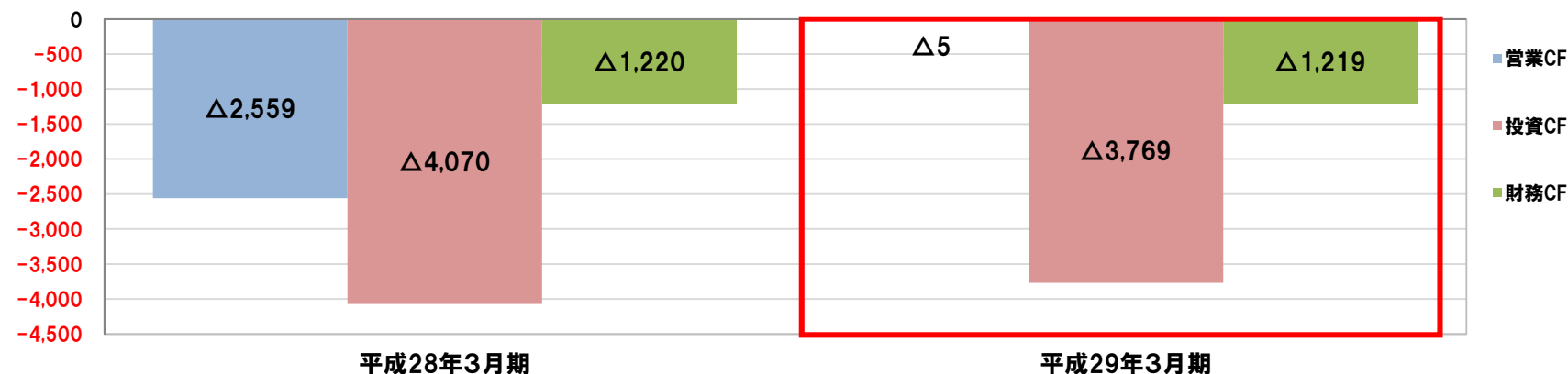
# 決算ハイライト⑤ キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	平成28年3月期	平成29年3月期	平成29年3月期の内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,559	△ 5	増加要因：減価償却費の増加、法人税等の還付等 減少要因：税引前当期純損失、長期前払費用の増加等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,070	△ 3,769	増加要因：有価証券の償還による収入等 減少要因：有形固定資産の取得による支出等
フリーキャッシュ・フロー	△ 6,629	△ 3,774	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,220	△ 1,219	減少要因：配当金の支払い
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,850	△ 4,993	
現金及び現金同等物の期首残高	33,638	25,788	自己資本比率 前期 84.8% 当期 82.3%
現金及び現金同等物の期末残高	25,788	20,794	

(単位：百万円)



# 決算ハイライト⑥ 通期業績修正について



(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

	平成28年5月13日 公表（当初計画）		平成29年1月30日 公表（業績修正）		平成29年5月12日 公表（決算数値）		備 考
パチンコ遊技機	130,000台		93,000台		96,600台		販売台数 減少要因（当初計画比）  パチンコ遊技機 ①第3四半期の入れ替え需要が 回収・撤去対象の多数を占める 他メーカーの後継機種に集中  ②販売計画の一部見直し
パチスロ遊技機	20,000台		1,000台		1,200台		
販売台数 計	150,000台		94,000台		97,800台		
売上高	50,000	100.0%	31,500	100.0%	32,953	100.0%	パチスロ遊技機 パチンコホールの導入機種が 人気機種に集中したことにより、 厳しい商戦となる
営業利益	5,000	10.0%	△ 2,600	-8.3%	△ 2,271	-6.9%	
経常利益	5,000	10.0%	△ 2,600	-8.3%	△ 2,280	-6.9%	
当期純利益	3,300	6.6%	△ 1,900	-6.0%	△ 1,944	-5.9%	

## 2. 当社の取り組みと今後の課題

# 平成29年3月期の課題に対する達成状況



## 課題1 稼働力の追求

### 平成29年3月期 発売機種種の稼働状況

機種名	稼働目標	課題に対する取り組み
CR遠山の金さん 二人の遠山桜	未達	<b>①新規タイトルの育成</b> 時代劇 新規タイトル 『CR遠山の金さん 二人の遠山桜』  <b>②新スペックによる独自性の追求</b> 業界初「連撃ラウンドシステム」 を搭載した『CR戦国十恋姫』を 市場投入  <b>③シリーズ機種で実績</b> 『CR緋弾のエリアII』にて高稼働
CR仄暗い水の底から	未達	
CRピカレ！まるまるアイランド	未達	
CR戦国十恋姫	達成	
CR緋弾のエリアII	達成 (更新中)	
CR Another アナザー	稼働更新中	
CRマジョカ十マジョルナ	稼働更新中	
CR世界でいちばん強くなりたい！	稼働更新中	
パチスロ ロリポップチェーンソー	未達	

## 課題2 利益体質の強化

### ①販売計画の着実な達成

パチンコは下半期以降、特に年末での入れ替え需要を取り込めなかった事が大きく影響したことや、パチスロは新規タイトルでの実績を残せず未達成。

### ②ムリ・ムダ・ムラを排除する体制づくり

リユース品目の増加や部材共通化の推進に努めたが、販売計画の未達により利益を確保できず未達成。

## 『変わる挑戦』

ものづくりに対する今までの常識や慣習にとらわれることなく、自らが変化に順応する

### 【機種開発】

- ①高稼働要因の徹底的な分析  
さらなる稼働力の向上に向けたプラスアルファの付加価値要素を加え、開発中の機種に対してスピーディーに反映
- ②版権の持ち味を活かしたタイアップ戦略
- ③ファンの皆様の好奇心を満たす演出、アイデアなどの積極的な採用
- ④新ジャンルの確立・独自性の追求など、差別化された商品性の実現

### 【利益体質の強化】

リユース活動に加えて、機種開発から部材調達および製造、営業活動に至るまでのトータルのコストコントロールを強化

## 実機シミュレーションアプリ

- ①パチンコ・パチスロ遊技機に関する事業とのシナジー効果を狙う
- ②特に稼動実績を残した機種を中心として、実機シミュレーションアプリのリリースを推進

## その他ゲームアプリ

- ①「マギアコネクト」「アドヴェントガール」に続く第3弾のタイトルを鋭意開発中
- ②ゲーム内容やリリース時期等の詳細については準備が整い次第、公表予定

### 3. パチンコ・パチスロ市場の見通し

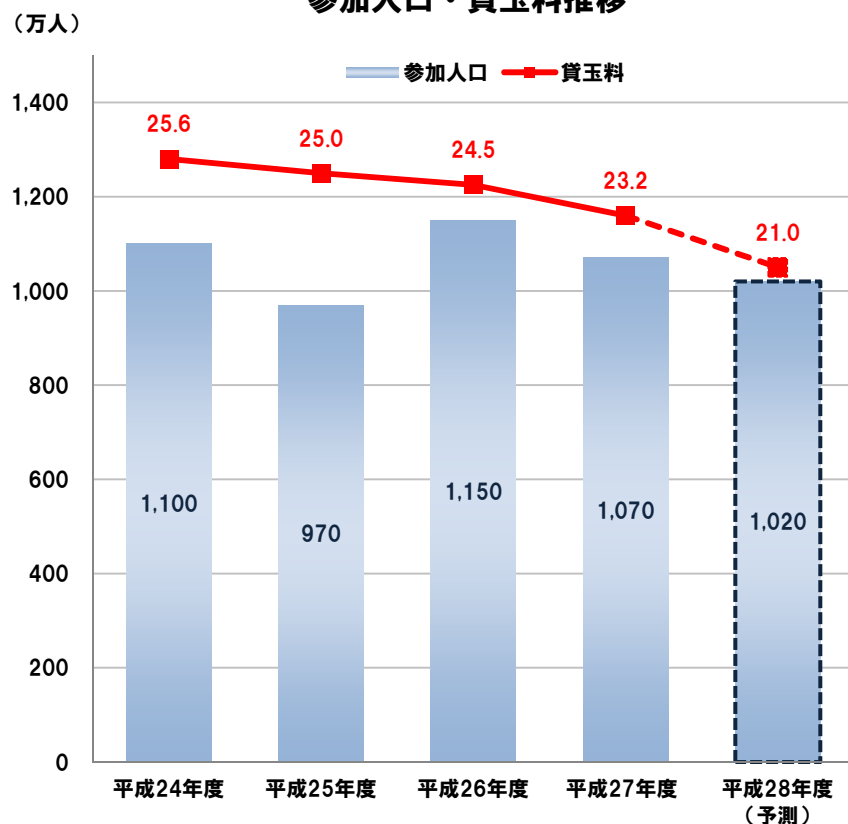
# パチンコ・パチスロ市場の推移



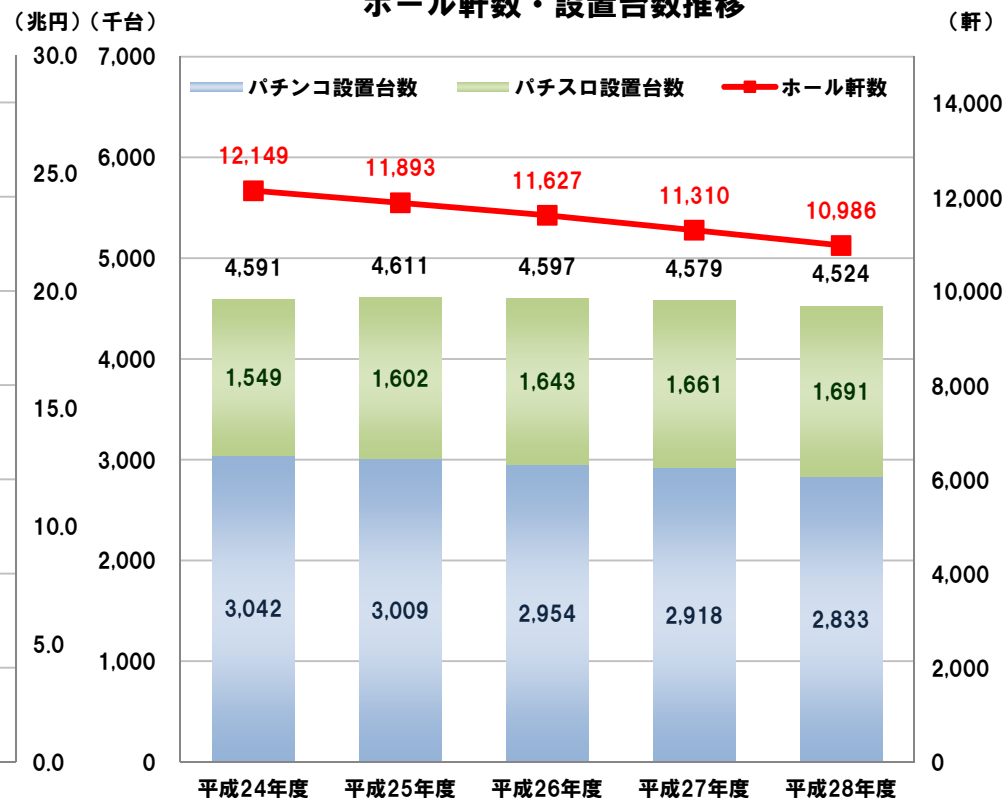
項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
参加人口 (万人)	1,100	970	1,150	1,070	1,020 (当社予測)
賞玉料 (兆円)	25.6	25.0	24.5	23.2	21.0 (当社予測)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
ホール軒数(軒)	12,149	11,893	11,627	11,310	10,986	
設置台数 (千台)	パチンコ	3,042	3,009	2,954	2,918	2,833
	パチスロ	1,549	1,602	1,643	1,661	1,691

### 参加人口・賞玉料推移



### ホール軒数・設置台数推移

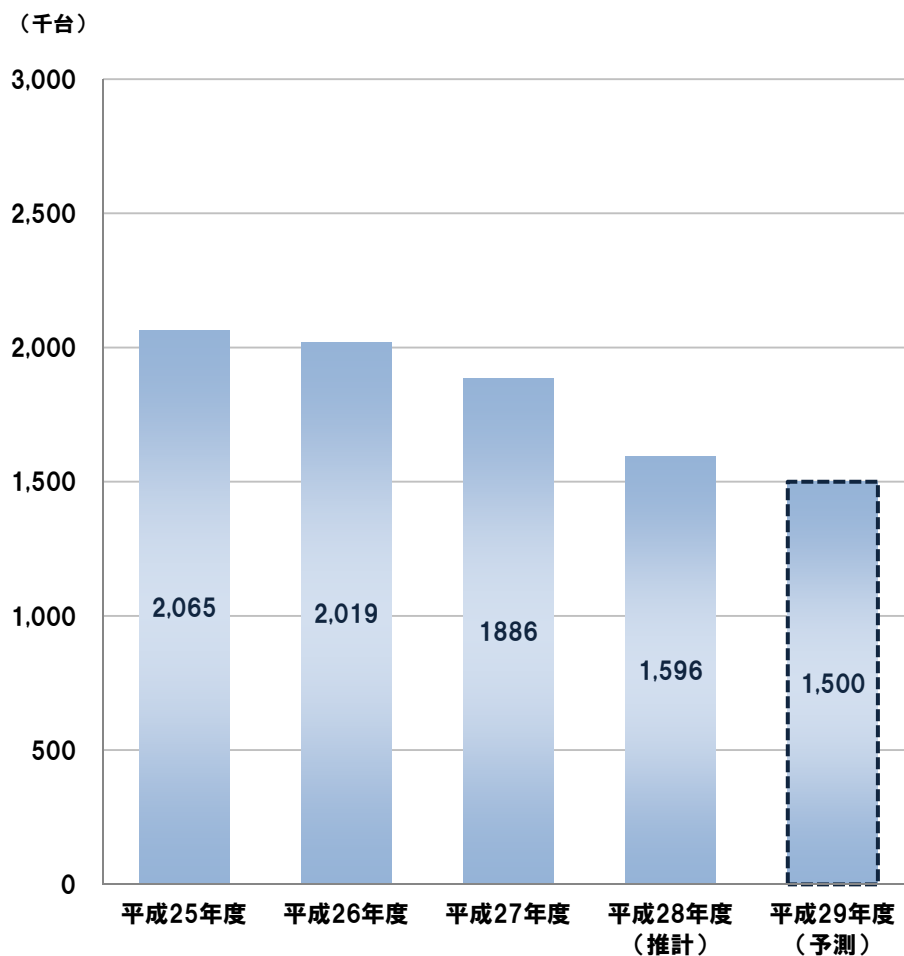


出所：警察庁（ホール軒数・設置台数）・日生産性本部『レジャー白書』（参加人口・賞玉料）

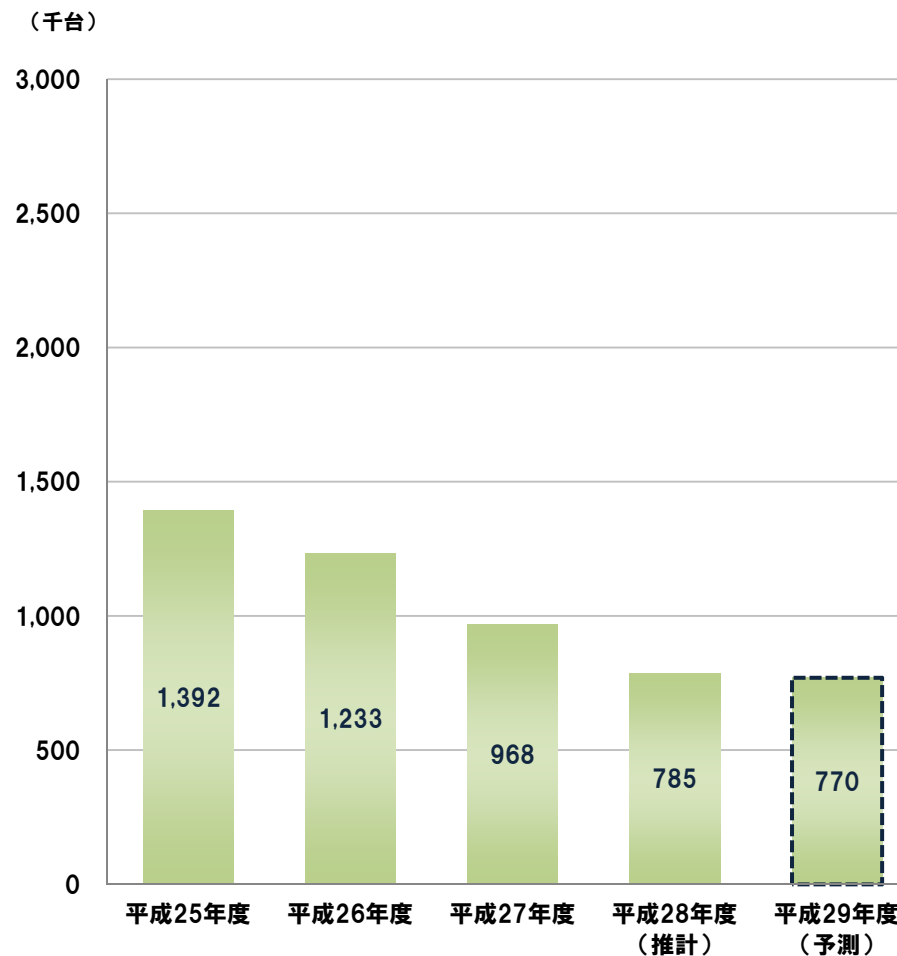
# 遊技機市場の販売台数推移



## パチンコ遊技機の世界販売台数



## パチスロ遊技機の世界販売台数



データ出所：株式会社経済研究所「2016年版 パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」より平成25年度～27年度の実績値 ※平成28年度・29年度は当社推計値・予測値

## 4. 平成30年3月期 通期業績計画

## 販売台数計画

パチンコ 105,000台 パチスロ 25,000台

## 販売ラインナップ

- ①パチンコ・パチスロともに**当社が誇るホラータイトル**をメインとして、**稼働実績を備えた有力シリーズ機種**を複数投入
- ②**新規タイトル**として、**新たな柱となりうるキラータイトル**も投入予定

■稼働力を備えた商品性の高い有力機種を継続的に市場投入することにより、当社遊技機の優位性を確保

■各商戦を積み重ねるごとにパチンコホール様の導入メリットを生み出す販売戦略を展開し、販売台数の確保に努める

# 平成30年3月期 通期業績計画



(単位：百万円、販売台数は百台未満切捨て)

項 目		平成29年3月期 実績		平成30年3月期 計画		対前期比 増減
販売台数	パチンコ	96,600台		105,000台		+8,400台
	パチスロ	1,200台		25,000台		+23,800台
	合計	97,800台		130,000台		+32,200台
売上高		32,953	100.0%	50,000	100.0%	+17,047
営業利益		△ 2,271	-6.9%	2,500	5.0%	+4,771
経常利益		△ 2,280	-6.9%	2,500	5.0%	+4,780
当期純利益		△ 1,944	-5.9%	1,700	3.4%	+3,644
1株当たり当期純利益		△ 79.71円		69.68円		+149.39円
1株当たり配当金		60.00円		50.00円		△10円
配当性向		-		71.8%		-

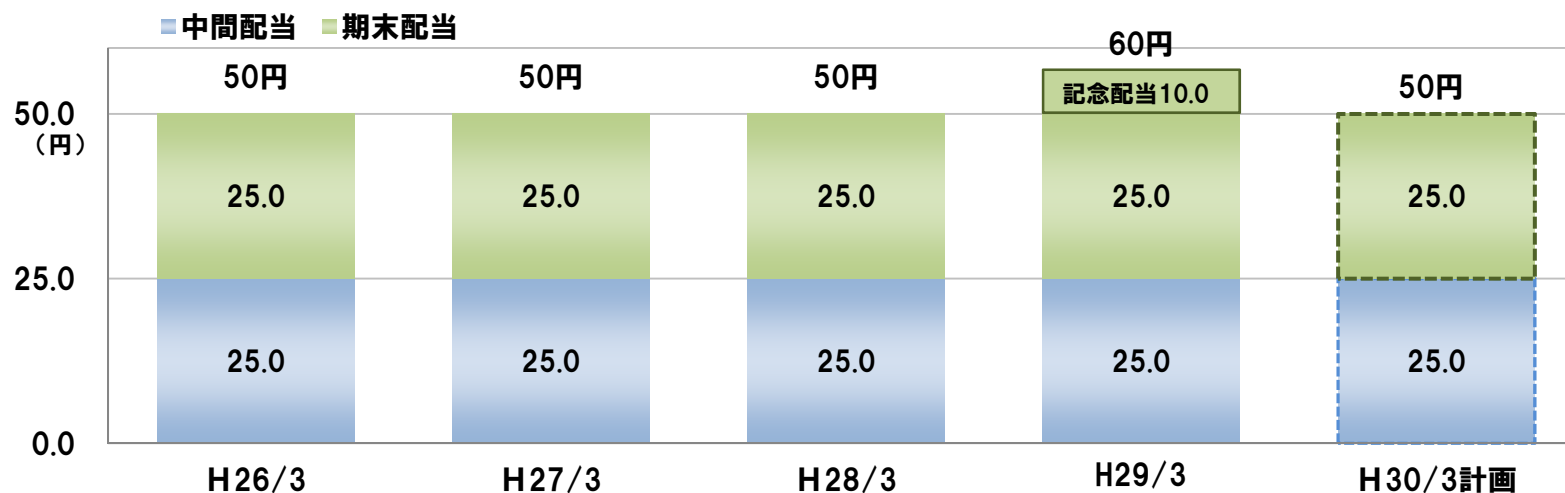
※当社の遊技機事業は販売戦略に基づき、期中を通じて機動的に新機種投入を行う必要があることから、平成30年3月期より第2四半期累計期間の業績予想については開示していません。

# 株主還元策について



## 配当政策・配当方針

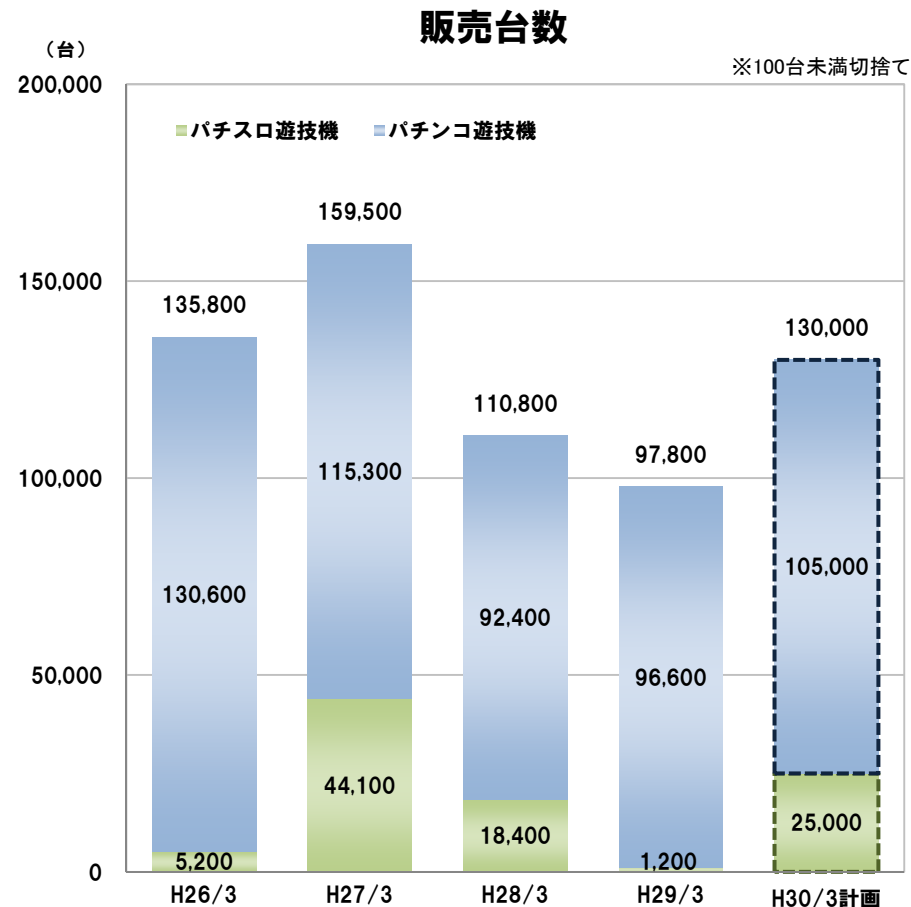
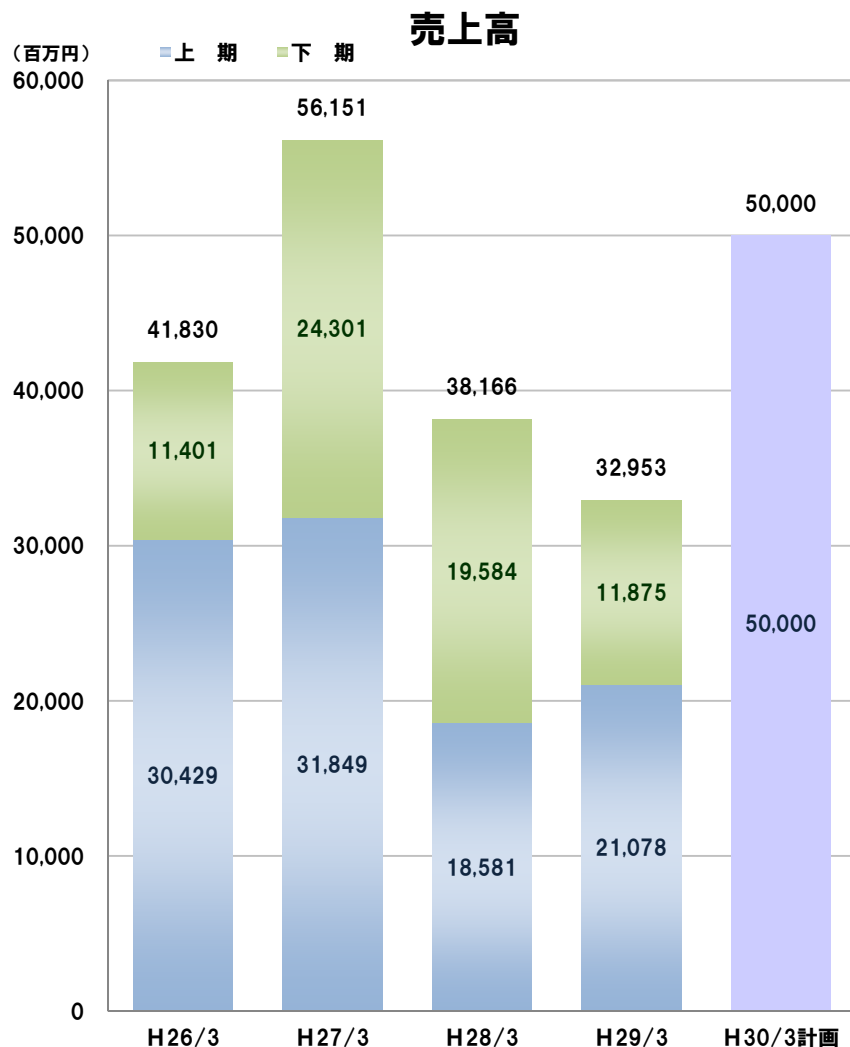
- 継続した配当を基本方針とし、経営成績および配当性向等を総合的に勘案
- 平成30年3月期の1株当たり配当金は、普通配当として通期50円を予定



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
当期純利益	2,735	4,812	1,237	△1,944	1,700
配当性向	45.4%	25.3%	98.6%	-	71.8%
純資産配当率	2.7%	2.5%	2.4%	3.1%	-

(※)上記数値につきましては、株式の分割を考慮した数値で算出しております。

# 業績推移① 売上高・販売台数等



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
パチンコ遊技機	7	8	10	8	-
パチスロ遊技機	2	2	2	1	-
投入機種数 計	9	10	12	9	-

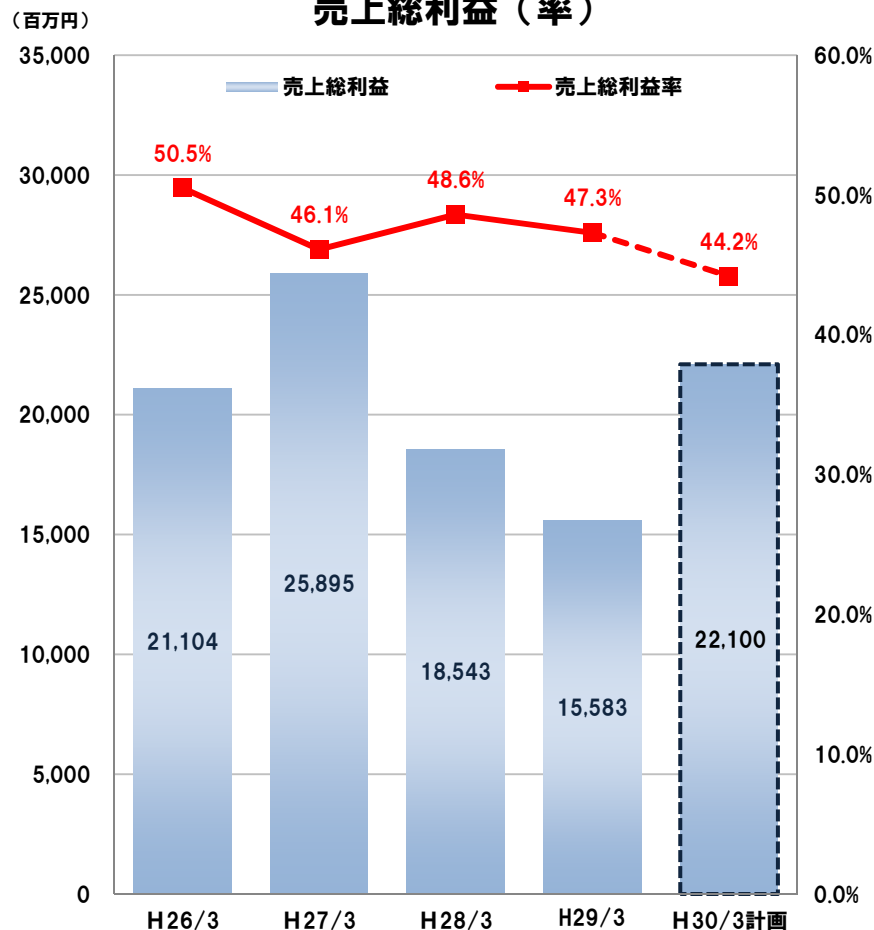
※当社の遊技機事業は販売戦略に基づき、期中を通じて機動的に新機種の投入を行う必要があることから、平成30年3月期より第2四半期累計期間の業績予想および投入機種数については開示しておりません。

※投入機種数は、新規タイトル数

# 業績推移② 売上総利益・販管費

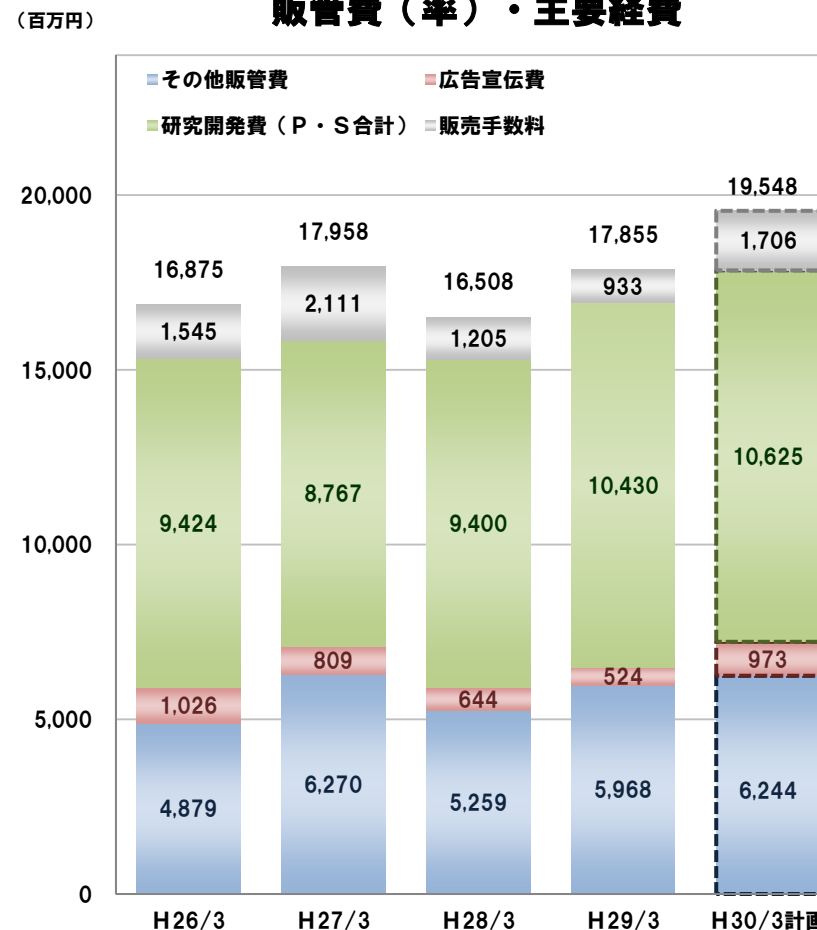


### 売上総利益（率）



人員数	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
営業部門	181名	179名	180名	182名	190名
開発部門	159名	175名	189名	200名	208名
その他	86名	91名	89名	86名	90名
全社	426名	445名	458名	468名	488名

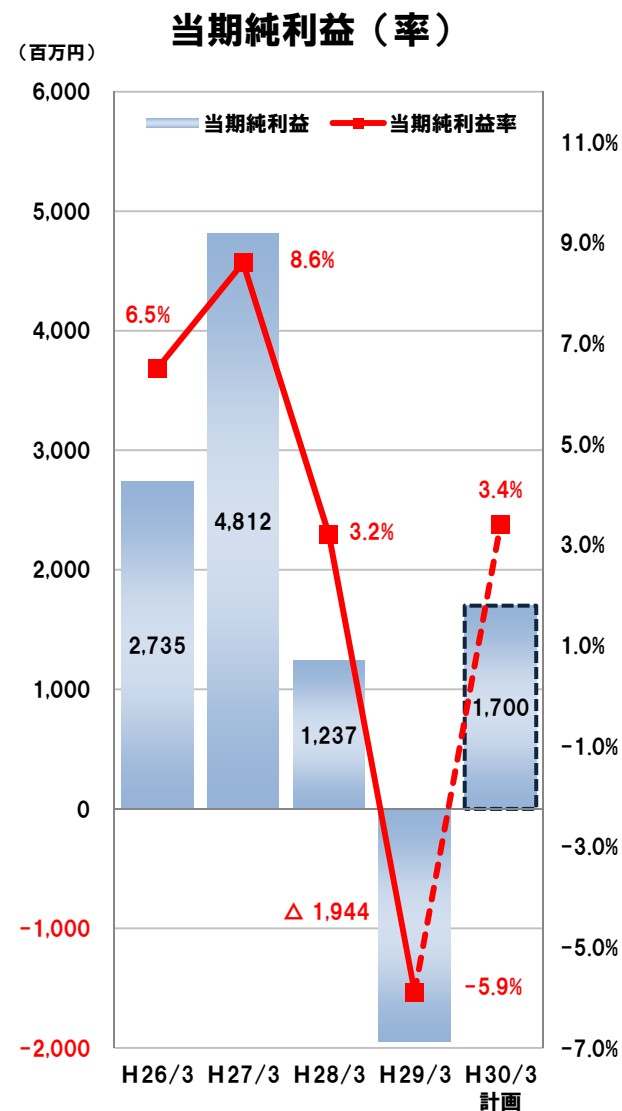
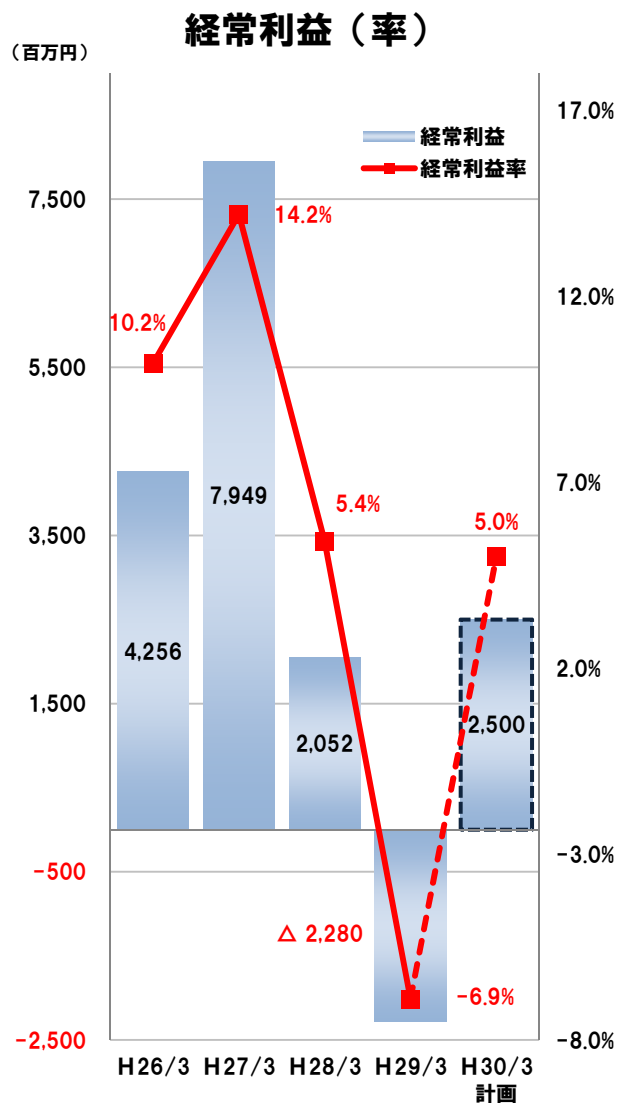
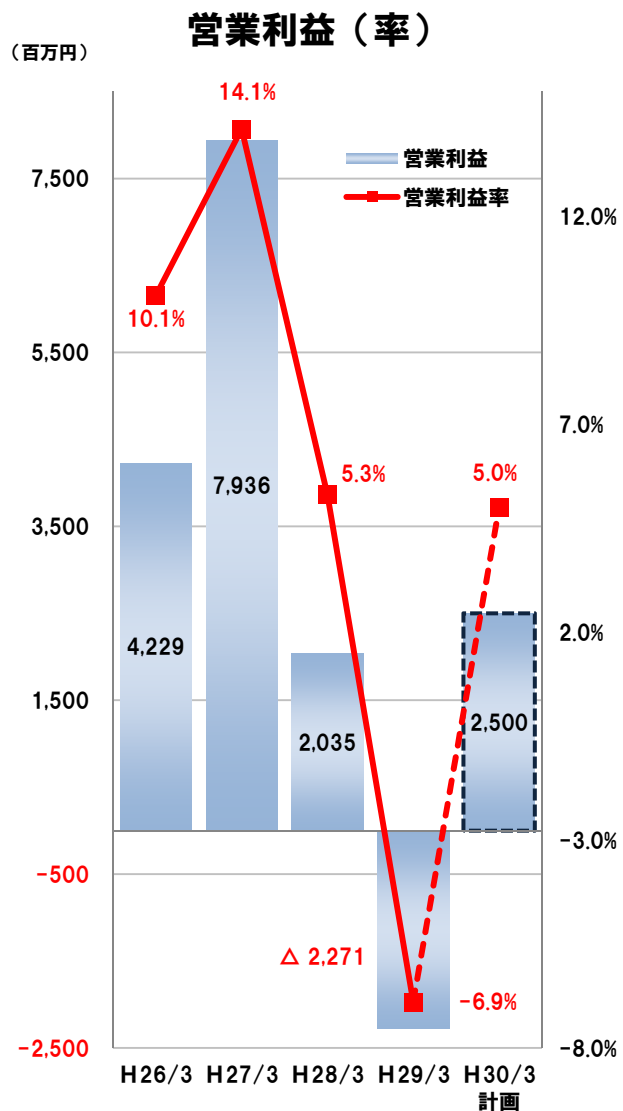
### 販管費（率）・主要経費



	H26/3	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3計画
販管比率	40.3%	32.0%	43.3%	54.2%	39.1%
手数料率	3.7%	3.8%	3.2%	2.8%	3.4%
研究開発費率	22.5%	15.6%	24.6%	31.7%	21.3%
広告宣伝費率	2.5%	1.4%	1.7%	1.6%	1.9%

※各比率は、売上高に対する比率

# 業績推移③ 営業利益・経常利益・当期純利益



## 参考資料



本体外観

社名	株式会社 藤商事
設立	昭和41年10月
代表者名	代表取締役社長 井上 孝司
資本金	32億81百万円（平成29年3月31日現在）
売上高	329億円（平成29年3月期）
従業員数	468名（平成29年3月31日現在）
事業内容	パチンコ遊技機、パチスロ遊技機の 開発・製造・販売



## 当社のコーポレートスローガン

<ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して!>

- 「ヒト味」は「人間味」を表しており、パチンコ・パチスロに情熱を持ち続け、可能性のある限り挑戦するモノづくりに取り組む姿勢を表しております。
- このコーポレートスローガンを「ヒト味違う“オモシロ”さ!」と短縮し、企業ロゴに表示しております。
- 企業ロゴの左側には、藤の花とイニシャル（F）をモチーフに、円の集合体を形成しております。これは、人間の持つ個々の特異性が融和されることによって生まれる人と人とのふれあいの大切さを表しております。

# 主な会社沿革



- 1966年10月      **じゃん球遊技機の開発、製造および貸付を目的とし、株式会社藤商事を設立**
- 1973年10月      **アレンジボール遊技機の製造および販売を開始**
- 1989年11月      **パチンコ遊技機事業に参入**  
**パチンコ遊技機の製造および販売を開始**
- 2003年 9月      **パチスロ遊技機事業に参入**  
**パチスロ遊技機の製造および販売を開始**
- 2007年 2月      **ジャスダック証券取引所に上場（2007年11月 J-Stock銘柄に選定）**
- 2010年 4月      **ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**大阪証券取引所 J A S D A Q 市場に上場**
- 2013年 3月      **サン電子株式会社と資本・業務提携契約を締結**
- 2013年 7月      **東京証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、**  
**東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）に上場**
- 2014年 3月      **東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード）にて貸借銘柄に選定**

# 主な発売機種



1966年



©藤商事

ジャン球遊技機

1987年



©藤商事

アレンジボール「シャトル21」

1992年



©藤商事

アレンジボール「アレジン」

2003年



©ITC

CRサンダーバード2



©ITC

パチスロ サンダーバードIII

2004年



©東映

CR暴れん坊將軍

2007年



©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング



©東北新社

CR宇宙戦艦ヤマト



©水木プロ

CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦



©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング 呪いの7日間



©地獄少女プロジェクト/スカーペルリンク・アニプレックス ©地獄少女プロジェクト/三浦製作委員会 Co., Ltd.

CR地獄少女



©東映ビデオ株式会社/「呪怨」製作委員会/「呪怨2」製作委員会/DWANGO Co., Ltd.

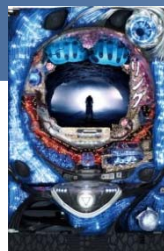
CR呪怨

2014年



©2011 春松中学・株式会社KADOKAWA メディアファクトリー刊/東京武偵高校

CR緋弾のアリア



©1999鈴木光司 発行：株式会社KADOKAWA 角川書店 ©1998「リング」「らせん」製作委員会

CRリング 運命の日



©1998「リング」「らせん」製作委員会

パチスロリング 呪いの7日間



©東映

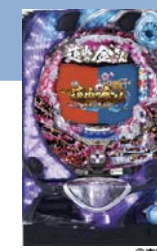
CR暴れん坊將軍 怪談



©地獄少女プロジェクト/三浦製作委員会

CR地獄少女 弐

2016年



©東映

CR遠山の金さん 二人の遠山桜

ヒト味違う発想で一步先の“オモシロさ”を目指して！

# 地域展開の状況 (平成29年3月31日現在)



**本社** : 大 阪 (中央区)  
**営業拠点数** : 全国20拠点 (6支店・14営業所)  
**製造拠点** : 名古屋 (愛知県一宮市)  
**開発拠点** : 名古屋 (愛知県一宮市)  
東 京 (千代田区)



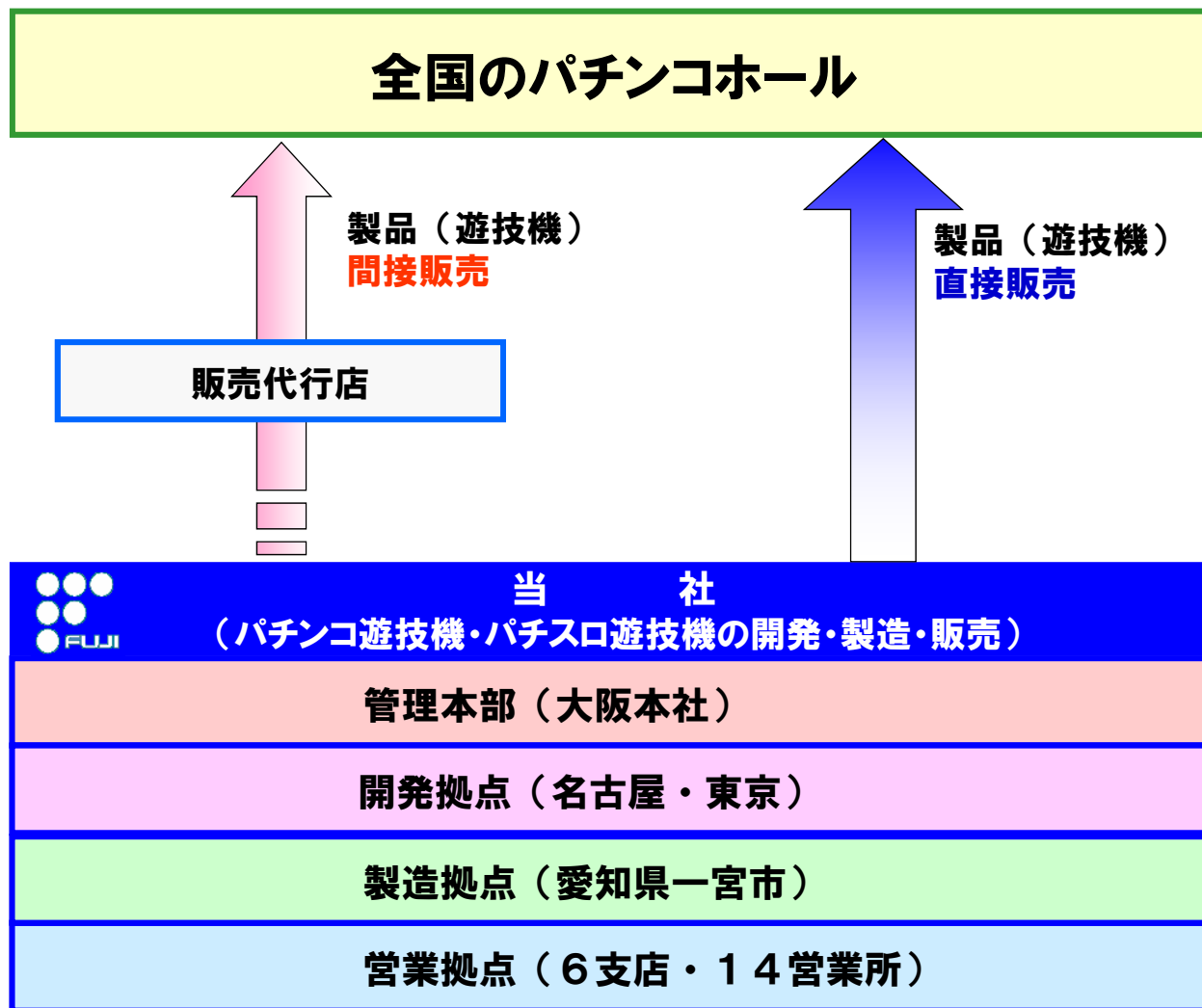
大阪支店



東京支店



名古屋事業所



(株) J F J (非連結子会社) (株) サンタエンタテイメント (持分法非適用関連会社)

## <本体販売とパネル販売>



<本体販売>

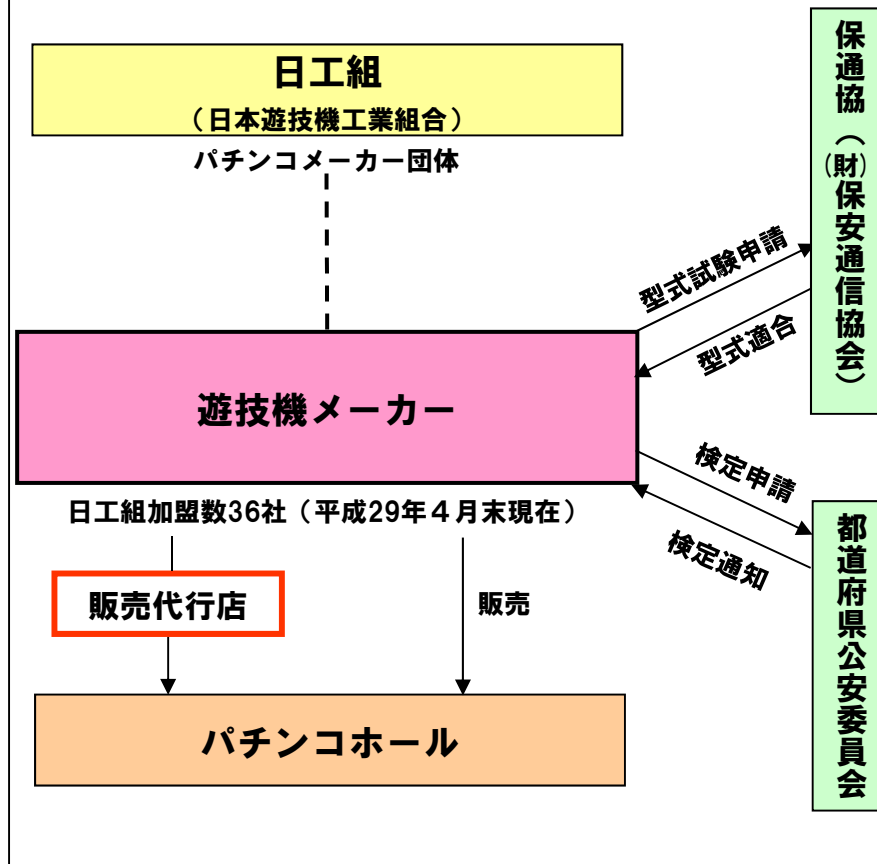


<パネル販売>

©1999鈴木光司 発行:株式会社KADOKAWA 角川書店 ©1998[ソング]「オモシロさ」製作委員会

※外枠(本体)は一度購入すれば以後の機種では、盤面(パネル)のみ入替を行うことにより、継続して使用可能。(枠が同一モデル機種の場合)枠をモデルチェンジした最初の機種は、全て枠付きでの販売となります。

## <業界関係図>



## ■ お問い合わせ先

**株式会社 藤商事 経営企画本部 広報・IR 室**

TEL:06-6949-0323 FAX:06-6949-3174

- 本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき作成したものです。本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害・問題等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんので、ご了承下さい。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、遊技機の型式試験の適合状況をはじめ、様々な要因により大きく異なる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。